

# 環境への取り組み



日本ユニシスグループは、エネルギー使用量やCO2排出量の削減に努めるなど、地球環境に配慮した事業活動を行うとともに、「ITが地球のためにできること」を環境活動のスローガンとし、ICTを活用して、環境負荷の低減や資源の有効利用、持続可能な社会の形成に貢献しています。

## 最小限のエネルギーで最大限のパフォーマンスを

日本ユニシスグループでは、一般的な省エネルギー活動と同時に、社員全員が効率的な仕事のあり方を追求し、常に業務の見直し・改善をすることによる「スピード力」の強化によって、さらに環境パフォーマンス向上をめざしています。

また必要に応じてICTを活用した在宅勤務、時短勤務を選択することを可能にし、ワークスタイルの変革に努めています。

これらの取り組みによって最小限のエネルギーで最大限のパフォーマンスをあげられるよう、日々取り組みをつづけています。

## ICTを活用した環境負荷低減

日本ユニシスグループは、ISO14001 認証を取得しており、取得範囲は2012年度時点で17社94サイト180部門です。

これらの各部門において年度ごとに取り組むべきテーマと数値目標を設定し、環境推進活動を行っており、その中でも多くの部門が「本業であるICTを活用することでお客さまや社会の環境負荷を低減する」活動に取り組んでいます。



ISO14001認証書

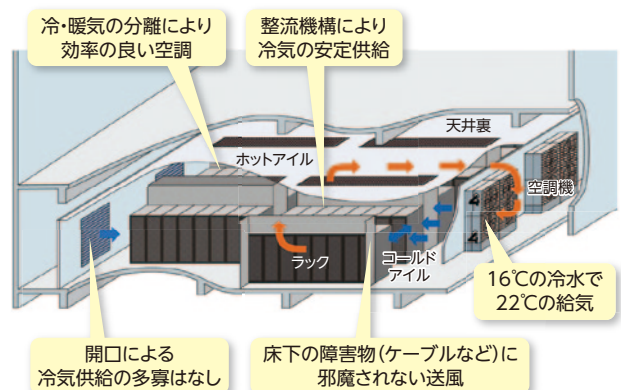
### 取り組み例

- 充電インフラシステムサービス「smart oasis®」の販売  
導入の拡大により、電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及に貢献します。
- クラウドサービス「U-Cloud®」の提案  
サーバー集約、エネルギー効率の良いデータセンター利用などにより、電力消費量の削減に貢献します。
- 含有化学物質管理システム「グリーン調達マイスター®」の販売  
お客さまの環境負荷低減の取り組みをサポートします。
- 仮想デスクトップの導入  
スマートワークの実施により、エネルギー使用量を削減します。

## データセンターの電力消費削減

日本ユニシス小浜データセンターは、最新の空調技術「壁吹出し方式空調システム」を採用しています。この方式は、空調機械室間仕切壁を介して直接サーバールーム内に冷気を供給するため、従来の床吹出し方式に比べ空調システム系の大幅な電力低減が可能となります。さらに寒冷地に立地している利点を活かした外気冷房やフリークーリング<sup>(※1)</sup>の併用で、想定電力の100%使用時にはPUE<sup>(※2)</sup> = 1.2を下回る環境配慮型省エネデータセンターとなっています。

### 小浜データセンターの空調システム



※1 フリークーリング：外気を利用して冷水をつくり、冷房に使用する仕組み  
※2 PUE(Power Usage Effectiveness)：データセンターのエネルギー効率を示す指標。データセンター全体の消費電力をデータセンター内のIT機器の消費電力で割った値。1に近いほど効率が高い

● サーバー・ラックの列で区切られたサーバー室内の空間のうち、ホットアイルは、サーバーの排熱だけを集めた空間のこと。コールドアイルは、空調機が送り出してサーバーが吸引する冷気を集めた空間のこと。